



2009年 12月号

りっぷ ろーかる いんふおーめーしょん ペーパー
L I P (Local Information Paper) とは……

ひらかたしめんはつ ふくし きょういく ぶんか かんきょう
枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの

じょうほう けいさい ちいきみっちゃくがたじょうほうし
情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。



◆ [レポート] 「人間関係論的観点から見た『特別支援教育』を考えるセミナー」開催

◆ [アート] 「楽しくかこう 三人展Ⅲ」 わらべ亭の仲間たち♪

◆ [団体紹介] 「枚方アルコール関連問題を考える会」♪

◆ [枚方の「共に学び共に育つ」教育は今(2)]

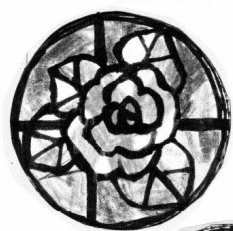
「いろんな子どもがいるから、助け合いながら成長できる♪」

◆ [ブログ連動連載 言いたい放題! アッキー28号]

「職業体験学習、無事終了!」

◆ イベント/サークル/ボランティア情報

◆ 編集局より/LIP配布場所/会計報告



今年の収穫は、

友達が増えた
こと。



「L I P編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913(渡辺) FAX: 020-4665-8668

郵便振替口座 00920-8-120259 (L I P編集局)

10月24日(土)、大阪市都島区の大阪市立総合医療センター・さくらホールで、「第4回特別支援教育を考えるセミナー～私と人間関係論的アプローチ～」(人間関係論的アプローチ研究会主催)が開催されました。300人収容のホールを埋めたのは、小学校や幼稚園の先生、保護者をはじめ、よりよい特別支援教育のあり方をさぐりたいと考える「現場」の人たちです。次々と壇上に立ち、子どもたちとのかかわりを語る講師の方たちのお話に、熱い共感の思いで耳を傾けていました。

人と人とのかかわりの中で一番大切なもの

「特別支援教育を考えるセミナーといっても、ちょっと一味違うんです」。山口、広島、岡山、神奈川、そして地元・大阪から、手弁当で集まった6人の先生

子どもと世界をつなぐ「かけ橋」としての支援

人間関係論的観点から見た「特別支援教育を考えるセミナー」開催

方の語るテーマは、「先生となら僕できるもん」、「子どもとの出会い、学び、そしてつながり」など。キーワードは、「かかわり」「つながり」といった「目に見えないもの」のようです。

「認知の偏りから、理解につまずいている子」「集団での指示が届かない子」「じっとしていられない子」「一番でないと気がすまない子」など、特別支援教育の対象となる子どもの支援で、何がキーとなるのだろうか。教員、言語聴覚士、研究者、社会福祉士という講師の先生が語るのは、今目の前にいる子どもにどう寄り添うかという真剣な思いと、具体的な実践のお話でした。

入り口でつまずいてしまう子どもたち

通常暗黙の了解のうちに成り立っているような社会的なルールを身につけるのが苦手な子どもたちがいます。そのためにあらゆる場面でつまずいて、傷つき傷つけられて、唇から飛び出すのはマイナスの言葉ばかり。それでも、心の奥には、「いろんなことを知りたい」「先生やお友だちと仲良くしたい」という願いが、きっとあるはず……。

たとえば、岡山県津山市の通級指導の教室で教える吉田英生先生のお話。

「教科書なんて、しまえ!」「学校なんて、大嫌い!」一切のかかわりを拒否する5年生の女の子を前に、「この子と共に、ひとつでも、ここで何か一緒にやってみよう」。祈るような気持ちで、吉田先生は、番犬

ゲームを提案しました。

「5分間だけ、一緒にやってみない?」遊びの中で、人との関係を深め、励ましや共感を素直に受け取れるように。「私、大丈夫かも?」通級指導の教師とのマンツーマンの交流を通して、肯定的な自己認識を育てていくことができれば……。

やがて、「歌を歌ったことがない」という子が、6年生になると、音楽の時間に歌を歌えるようになり、「問題行動」もなくなった。小学校の先生の見方も変わり、笑顔で卒業していったのだ、と。20歳を越えて、現在アルバイトをしながら地域で暮らす教え子の話を、語っていただきました。

きっと、できるよ。一緒にやろう!

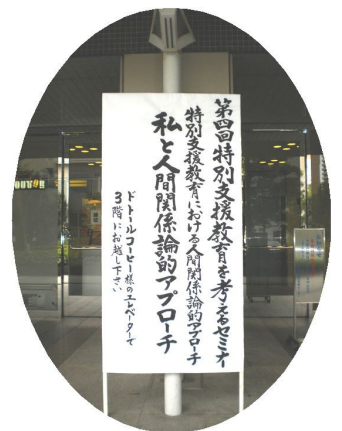
子どもが抱える難しさを、すぐに解消することはできなくても、一緒に考え、問題を解決していこうとする姿勢。「先生も、いる。君のこと、見てるよ。一緒にやろう。きっと、解決していけるよ!」そんな風に先生が言ってくれば、心の底に力が湧くでしょう。

大好きという気持ちを伝えていくことの大切さ。下に弟が生まれた時に、「お母さんは、僕を捨てた」と思ったという男の子のお話。「事実が分かるということと、心で納得できたということとは、違うんです。

『赤ちゃんが生まれて、あなたのお世話ができない。おばあちゃんにお願いしているけれど、でも、お母さんは、ずーっとあなたが大好きよ』と伝えてあげる。それが、とっても大切なことなんです。講師の説明を聞いて、ええっ!? そんなことって!? 驚きましたが、いや、大人の私たちも同じなのでは? そんな気づきもありました。

3年前から始まった「特別支援教育を考えるセミナー」は、第4回の今年で「卒業」ということで、一応終了。今後は、別の形で情報の発信、交流を考えるそうです。ホームページも近々立ち上げる予定とのこと。いろんなこと、これからも学んでいきたいと思いました。

豊高明枝 (市民ライター)





「オペラ座の怪人」 馬場洋介

25 年位前から、寝屋川に「わらべ亭」という絵画教室がありました。ほっこり、ほっとする小さな家で、ホー先生（故・北條カツ昭氏）はいつも子どもたちを待っていて下さり、絵を描

「楽しくかこう 三人展－Ⅲ」

12月9日（水）～12月15日（火）

ぎやらりい西利 祇園四条駅徒歩3分

11時～19時（金曜20時／最終日16時迄）

TEL 075-525-7111

絵を描いています。

馬場洋介はゆっくりじっくり型、ミュージカルが好きで「キャッツ」「ライオンキング」「オペラ座の怪人」をテーマにゴシゴシ力強く描いています。「絵を描く時、唯一至福になれる時」（洋介談）。

赤坂淳子は太陽のように明るくおしゃべりな女の子です。絵も明るく、「Hana」「S A K A N A」「はっぱ」「めいっ子瑞希」をテーマに

「楽しくかこう 三人展－Ⅲ」 わらべ亭の仲間たち

きたい時も、描きたくない時も皆一緒に、しゃべりながら、絵を描いたり、工作をしたり、机の下にもぐったりしていました。

吉田美紀子は3年間、ホー先生の助手をし、馬場洋介は小5から、赤坂淳子は中1から「わらべ亭」に通っていました。

ホー先生は病気で天国へ行ってしまわれ、寝屋川の「わらべ亭」はなくなりましたが、「やっぱり描きたいね」と三人集まり、楠葉生涯学習市民センターで描き続けてきました。

馬場洋介はもう32才、赤坂淳子は28才、各々ハンディキャップを持っていますが、グループホームに住み、作業所で働きながら楽しく

「やさしい気持ちで描いています」（淳子談）。

今回、「楽しくかこう三人展－Ⅲ」を開催します。あふれる色彩とのびのび自由な心の表現を、ぜひご覧ください。

✎ 吉田美紀子（わらべ亭）



「Hana」 赤坂淳子

【わらべ亭の活動】

- 2007「楽しくかこう三人展－Ⅰ」 ギャラリー西利
- 2008「楽しくかこう三人展－Ⅱ」 ギャラリー西利
- 2008「アール・ブリュット in 枚方展」 ぐずはアートギャラリー
- 2008「アール・ブリュット in 枚方宿展」 Cafe ルポ・デ・ミディ/五六市
- 2009「アール・ブリュット in 京都展」 御池ギャラリー
- 2009「アール・ブリュット in 枚方宿展」 Cafe ルポ・デ・ミディ/五六市
- 毎年「楽しくかこう展」 楠葉生涯学習市民センター五月祭

枚方アルコール関連問題を考える会

■略称 アル間会 (あるもんかい)

そんなもん 「有るもんかい」 みたいな変な名前ですが、まじめにアルコール関連問題を考え続けています。

参加された、お寺の住職さんからは「在間会」という命名もいただきました。深そうやなあ！ 感謝です。考え続けてはや、2年9カ月になりました。とはいっても月1回の会合なんで、数少ない機会が残念なんです。

■アルコール関連問題とは

アルコール依存症、飲酒運転、虐待、暴力、暴言、職場放棄、経済苦、家庭破壊、児童の飲酒、若年飲酒、身体疾患、精神疾患などなど……

■発足と活動内容

「アル間会」は2007年3月にアルコール依存症者本人と、援助者が中心になり、医療ソーシャルワーカーの菊地さんを代表にして発足しました。スタート時から活動の方向性については試行錯誤があり、一時期は実際の依存症者支援まで考えたこともありましたが、現在は、アルコール関連問題に関する知識の普及、活動者のネットワークづくりを中心に、毎月1回の定例会(勉強会と連絡会)を開いています。

定例会では、話題提供者からそれぞれのテーマでお話いただき、参加者との意見交換をおこなっています。参加者も少しずつ広がり幅広い分野の方々に参加されています。

以下、これまでのテーマの一部をご紹介します。

◆断酒会と行政 ◆断酒の体験談 ◆自助グループとソーシャルワーカー ◆専門治療機関での教育プログラム ◆アルコール依存症に関わる社会資源について ◆アルコール依存症家族読本を読んで ◆精神に障害のある方の使える社会資源 ◆高齢者におけるアルコール関連問題 ◆地域包括支援センターと個別支援 ◆統合失調症の人ってどんな人 ◆精神障害者の支援を地域で ◆枚方市の障害者福祉における自立支援サービスについて ◆アルコール関連問題と生活保護の絡み ◆当事者にとってアルコール依存症とは

■参加者

多士済々。共通点は、アルコールが引き起こす様々な問題を知りたい、少しでも減らしたいという気持ちです。



- ①アルコール依存症から抜け出そうと苦闘中の本人
- ②すでに何年も断酒を続けている本人
- ③依存症者を家族にもった人
- ④介護の仕事で、依存症者に関わったケアマネージャー、ヘルパー
- ⑤アルコール専門病院医師
- ⑥アルコールソーシャルワーカー
- ⑦一般病院ソーシャルワーカー
- ⑧施設相談員
- ⑨枚方市役所 職員
- ⑩枚方保健所 職員
- ⑪地域包括支援センター職員
- ⑫NPO団体職員、市民活動団体職員
- ⑬一般市民(元市職員、元ケアマネージャー、寺院住職)

◇アル間会 事務局 木村多加緒

《枚方アルコール関連問題を考える会》

◎定例会

毎月第2木曜日 18時30分～20時30分

◎場所 枚方市地域包括支援センター みどり

岡東町 17-31-201 松葉ビル

TEL 072-845-2002

▼アル間会の今後の予定▼

◎12月10日(木) 18時30分～

話題提供者 アルコール専門医院 安東医院
院長 安東龍雄氏

《2010年》

◎1月 新しいびみ病院 高森医師 アルコール
ソーシャルワーカー

◎2月 枚方保健所 川原氏

◎3月 平和で豊かな枚方をみんなで作る会
事務局 手塚氏

▼アル間会 連絡先▼

090-5167-4600(菊地)

枚方の「共に学び共に育つ」教育は今 (2)

これまで、障害のある子もない子も、地域の普通学校で「共に学び共に育つ」教育を大切にしてきた枚方市。ところが今度、初めて支援学校（養護学校）がつくられることになり、議論を呼んでいます。今こそ、枚方が育んできた「共に学ぶ」ことの意味を問い直したい。市民に思いをききながら、考えます。

連載第1回（2009年10月号）で書いたように、枚方では30年以上前、養護学校（現在の支援学校）に入学を拒まれた子どもたちを、地域の小学校で受け入れて学ばせる取り組みが行われていました。

当時は養護学校に入るにも審査があり、たとえば「ハイ」と返事ができない子どもは、入学を認められませんでした。就学免除（学校に行かなくてよい）、就学猶予（今すぐは学校に行かなくてよい）といわ

「共に学ぶ」って、どういうこと？-②

いろんな子どもがいるから、助け合いながら成長できる

れ、学校教育から門前払いされたのです。

そこで、そんな“重度”の障害のある子も通える学級をつくろうと、保護者と教師の運動で1971年に開かれたのが、開成小学校の「重度障害児学級」と五常小学校の「肢体不自由児学級」でした。

今回、登場いただくのは、開成小の重度障害児学級で担任をされていた寺嶋榮さん（交野市）です。

■「重度障害児学級」の始まり

「とにかく走り回る子どもたちで、右を向いて左を向いたら、そこにいた子どもがいない。毎日が“戦争”でした」と、寺嶋さんは回想します。

児童17人を教師2人が担任する形で始まった重度障害児学級。子どもたちの多くは呼びかけても反応がなく、片時もじっとしていません。次から次へと教室を飛び出すので、教師1人が授業を行い、1人は子どもを追いかけて連れ戻していました。

「教室に鍵をかけたらかどうかともいわれましたが、鍵は絶対にかけなかった。あたりまえの環境で過ごさせることが大事だと思っていたからです」

手探りで集団づくりを必死に働きかけているうち、

子どもたちは次第に落ち着いてきました。文字指導などの学習をしていて、寺嶋さんは、ことばが出ない子どもでも、こちらが言うことをちゃんと聞いているし、理解しているのだと気づきます。

■普通学級での関わりのなかで

重度障害児学級が始まって1～2年たつと、体育、図工、音楽などの授業は、普通学級で障害のない子どもと共に学ぶようになりました。そこで現れた子どもたちの変化について、もう1人の担任教師だった宮崎隆太郎さんはこう記しています。

健常児の中にはいった子どもたちが、私たちの思惑をはるかに超越して、50メートルを走り切ったり、太い長い線を生き生きと描いたり、歌はうたえなくても身ぶり手ぶりでリズムにのったり、ことばを口まねしたりということができていくのです。（『障害児がいて見えてきた』三一書房）

こうした体験を通じて、障害のある子もない子も共に過ごす環境でこそ、子どもたちは成長するのだと寺嶋さんは実感していきます。その思いは、重度障害児学級の卒業生が養護学校高等部に進学した後



温かい笑顔で話す寺嶋榮さん

の姿を見て、ますます強くなりました。

■“障害者”しかいない環境だと...

「養護学校の運動会で、その子は、小学校の時はかけっこは1人で走っていたし、組立体操もちょっと補助すればできていました。それがウロウロして落ち着かない様子で、走る時も1人じゃなくて、先生に手を引っ張られて走っていた。できるはずのことが、できなくなっていたんです」

“障害者”しかいない環境では、一方的に支援されるだけの関係に慣れてしまうのではないかと。

「やっぱり、いろんな子どもたちがいっしょにいて、助け合いながら集団として成長していく。それが社会のあたりまえの姿ではないでしょうか」

かつて、養護学校から拒否されるほどの“重度”の障害をもつ子どもたちが、地域の普通学校で学び、子ども集団のなかで成長をとげた。障害児教育のあり方を考えるとき、私たちはこの事実をもう一度、かみしめてみなければなりません。

文・写真／フリーライター・合田享史

ブログ連動連載

言いたい放題! アッキー28号

2009/11/06 職業体験学習、無事終了!

中二の自閉症の息子、近くの市役所別館M分室の子育て支援・集いの広場での二日間の体験学習、無事終了しました!

中学に入る前、先輩にあたるI子さんのお子さんの話を聞き、出身保育園で体験学習を快く引き受けてくれた、との話を聞いても。

「I子さんやし、出身保育園がすてきなところやと言っておられたし。つながりを作るのが上手な彼女とお子さんだからこそ、体験学習先を見つけたのではないかしら」「うちの子、そして、私には、無理かも?」との思いが消せなかったのですが。

「支援学級の子らは、よく、学校裏手のホームセンターに園芸用品を買いに行ったりするので、そこで体験学習させてもらいたい。うちの子も、そこに行ったよ!」支援学級先輩のお母さんにそう聞いても、うーん、うちは、行けるかなぁ?と思っていたのですが。

それでも、二年になった今春には、「体験学習、うちの子もやって当然!」と思うようになってきたんです。

そして、夏休み前の個人懇談の際に、「お母さんは、どこがいいと思いますか?」と言われた時に、すかさず、「本が好きなので、いつも行ってるM分館内の図書館M分室に行かせてもらえれば」とお願いしたのでした。

結局、M分室ではなく、その向かいにある集いの広場に行くこととなり、女子生徒二人と一緒に集いの広場で過ごし、赤ちゃん子どもやお母さんと共に過ごす、というスケジュールとあいなったのです。

「お世話をするより、真っ先に自分が遊んでるのと違う? あそこは、昔、小学生は入れないのになぁと入り込んで、出すのに苦労したですよ。体験学習終わったら、また入り込むのでは?」なんて心配もありましたが。おかげさまで、なんとか無事に、体験学習終わったようです。

【アッキー自己紹介】「要配慮」の男の子二人を育てる母。弱い立場にある者にこそ、世の中の真実がよく見える……。『いきいき楽しく』をモットーに、『知命』の障害児の母、自分も他も互いに尊重し合う『共生』の世界を目指します。

「のぞいてみるとね、昨日はボールプールの中で、で一んと手足伸ばしてひっくり返ってたで。ほらほら、今も、ひとりで遊具で遊んでる。自分の世界にひたって、遊んでるでー」

お迎えに行くと、警備員のおじさんがそう言って報告してくれます。

「今日はね、手遊びの体操をするとね、音楽が好きなんだね、うれしそうに手足を動かして体操してましたよ。子ども達に絵本を読んでやると、楽しそうに聞いていましたね。それで、後で、自分も絵本コーナーに行って、読んでたよ」

「小さい子らが、お兄ちゃんの周りに寄ってくるのよね。T君、ぱあっと走ったりしながらも、子ども達にぶつからないように、気をつけてたみたい」子育て支援の課長さんや、偶然Tの保育所時代三歳児さんのクラスで担任を持ってもらった退職なさった元保育所の保育士の先生から話を聞かせてもらって。よかったー!.....

⇒⇒⇒ 続きを読む... <http://plaza.rakuten.co.jp/akkieandphoenix/>



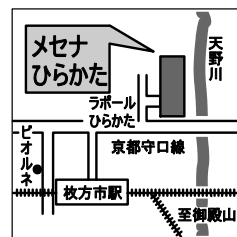
ウィル・フェスタ2009

ゆったりウキウキ にぎわい広場

2009年12月5日(土) 6日(日)

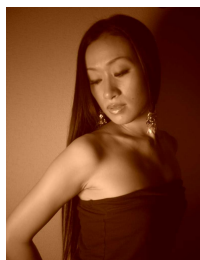
メセナひらかた 男女共生フロア・ウィル

今年もウィル・フェスタの季節がやってきました。朗読劇、ゴスペル・ライブ、映画、トーク、展示、パフォーマンス、などなどゆったりとにぎやかに集まりください。



連絡先 072-843-5636

<http://will-hirakata.org>



みんなで歌おう!
ウィル・ゴスペル・ライブ
12月5日(土) 午後6時30分~
12月はゴスペルの季節
みんなが知っているあの歌を聴いて、
歌って、楽しむ参加型ライブ。

ボーカル: 新川麻子/上新友佑/鳥越かこ ピアノ: 平山のりこ



朗読劇 あめんぼ座
「ら抜き」の秘密「よだかの星」
12月5日(土) 午後1時30分~
話題の朗読劇をウィルでゆったり
堪能してください。上質の朗読劇を
演ずるのは、働きながら活動が続け
ている女性たちで構成された朗読劇団「あめんぼ座」の皆さんです。

このほか、市民公募によるグループ発表など多数の企画あります。LIP編集局も展示で参加!

イベント・サークル・ボランティア情報

☆☆☆ ハンドベルクリスマスコンサート ☆☆☆

御殿山キラ星ハンドベルクワイア

■日時: 12月11日(金) 19時開演

■場所: ラポールひらかた 4階大研修室

■入場料: 500円

■連絡先: 澤田 072-843-3195

※尚、入場料の一部は、ユニセフに寄付をさせていただきます。

【五行歌作品展示】

「はじめての私のウタ、あなたのウタ!？」

五行歌(ごぎょうか)とは、五行に書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、誰にでもすぐ作れます。そんな五行歌を愛する仲間たちの作品展示です。

投稿コーナーも設けますので、マイオリジナルのはじめてのウタ、あなたも作ってみませんか!?

日時: 12月5日(土) 13:00~20:30

12月6日(日) 10:00~16:00

場所: メセナひらかた 3階 男女共生フロア・ウィル

参加費: 無料

♪参加者募集♪

毎月一度、月曜10:30~12:00、メセナひらかた三階活動室にて、作品を持ち寄り、自由に語り合っています。(参加費無料、但しコピー代100円程度要) 参加者大募集中!

お問合せは⇒090-5893-5635 (とよたか)

akkie.toyotaka@kud.biglobe.ne.jp

参加者募集/枚方市主催☆男女共同参画社会づくり支援講座

今のあなたをどう活かす!? イムニー流 らごとOK!

これからの自分の仕事、生き方を考えてみよう

主婦のためのパソコン教室を運営しながら、障害児の母としても明るく元気に生きる講師と一緒に、グループワークを行ないながら、「自分の仕事」「自分の生き方」をさぐりましょう。

日時: 1月13日(水) 13:30~15:30

場所: ラポールひらかた 三階 研修室1

講師: 井村恵美(いむら・よしみ) パソコン@サポート代表

対象: 子育て中、夢や生き方探し・再就職を考える女性

定員: 20人

参加費: 無料

保育: 0~6歳のお子さん 10人まで

障害を持つ0~18歳のお子さん 3人まで

無料 お子さんのお茶は、各自ご持参ください

(1月7日申込締切。但し定員に達し次第、申込を打ち切ります)

申込み方法: 12月1日午前10時より、申込受付開始

電話 090-5893-5635

Eメール akkie.toyotaka@kud.biglobe.ne.jp

放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」担当・とよたかまで

ファミリーポートひらかた 子育てフォーラム

「ピカピカの一年生……小学校ってどんなところ?」

初めての新入学に向けて、子どもはわくわく。親はドキドキ。元小学校教員の方に小学校生活についてわかりやすくお話いただき、質問、不安にお答えします。

■日時: 1月15日(金) 午前10:30~11:30

■場所: ファミリーポートひらかた

■対象: 新入学の子どもを持つ親

■参加費: 無料

※申し込み方法: 12月21日9時から電話で受付。定員なし。

TEL 072-850-4400

保育: 0歳から4歳、定員15人

★ 小児医療の現状は今 ★

インフルエンザ診療を考える

新型ワクチン、タミフルは必要か?

■日時: 12月13日(日) 13時30分~16時30分

■場所: 枚方市市民会館3. 4集会室

■講師: 高松勇医師

(たかまつこどもクリニック院長) 枚方市在住

■参加費: 500円

「インフルエンザの予防は?」「予防ワクチンは効果があるのか?副作用は?」などお悩みの方も多いと思います。一緒に考えませんか? 講演、質疑の後、短時間ですが個別の相談の時間もあります。お気軽においでください。

■主催: 平和な枚方をつくる市民の会

■共催: こども全国交歓会

■TEL/FAX 072-849-1545/080-1509-0706 (手塚)

とれぶりんか劇団

音楽劇 『cherry』 ~second story~

音楽とお芝居のコラボレーション企画!!

あらすじ

世界は今命の危機にさらされている。忘れてはいけない!とれ

ぶりんかの森で亡くなった200人の子どもの命

そして今またガザの空爆によって悲劇が繰り返される...

罪も無い子どもたちが意志など通せずに無惨に消えていく...

その悲しみや憎悪から生まれた化身『ゴルゴディア』

その大きな哀しみの化身を救おうと立ち向かう愛と平和の使者『cherry』今子ども達を救うため物語は再び始まる...

■日時: 12月13日(日) 開場: 13時00分 開演: 13時30分

■場所: 牧野生涯学習市民センター 牧野駅より徒歩5分程

■チケット代: 前売り 800円 当日 1000円

※お問い合わせ toreburinkagekidan@yahoo.co.jp

チケットのお取り置きもさせていただきます。気軽にお問い合わせ下さい。

とれぶりんか劇団では色々な世代、地域の方、世界の人々に芝居という文化を通してメッセージを伝えていこうと日々稽古に取り組んでいます。

稽古だけではなく、地域のイベントにも参加し色々な形でメッセージを発信しようと取り組んでいます。

今回のcherry 2nd story (チェリー・セカンドストーリー)

はとれぶりんか劇団の代表作品と言うくらい、とれぶりんかだからこそできるテーマ(平和と愛)だと思いますので是非見に来てください。

ハートライン クリスマス販売会

■日時: 2009年12月20日(日) 10:00~15:00

■場所: 藤阪ハイッ バス停前

・クリスマスセット

・パウンドケーキ、陶器のマグカップ、珈琲豆(2つ)

・クッキー

・陶器のクリスマスツリー

・珈琲豆

・カンボジアの雑貨その他

※先着20名さまにはエコキャンドル1つ差し上げます。

ハートラインの商品はすべて、枚方・交野などの作業所や市民の手作りです。2009年最後の大イベント「クリスマス」を盛り上げよう!

■問合せ: 072-866-0119/090-8537-9886 (若林)

LIPは、次の場所に置かせていただいています。**枚方市**

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [招提南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティカフェ ラ テール [西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [長尾元町 6-39-15 lilian@kcatz.qaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シャルム [南楠葉 1 丁目 2-16 ぐすは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ たこやき・おこのみ けんちゃん [大峰南町 7-1 スーパーワカバ内 072-859-4155]
- ★ 街かどデザインハウス 藤阪愛逢 [藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアーサロンかすみ [長尾東町 3-1-4 072-859-1601 (予約優先)]
- ★ ソーイングの店 みなよし [香里ヶ丘 3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 喫茶&アンティークショップ Squirrel (スクワール) [宗谷 1-1-1 072-859-2475]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203 号室 072-856-9177]
- ★ 割烹 千鳥 [岡東町 12-13 ひらかたさんぶらさ BIF 072-843-8114]
- ★ WAVE34 (ボウリング場) [田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアースタジオまへば [南楠葉 2 丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所 (市民活動課・環境総務課・人権政策室) [大垣内町 2 丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ (財)枚方市文化国際振興団 [岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 食育ステーションまきの [枚野本町 2 丁目 19-2 072-397-2111]
- ★ 社会福祉法人 心愛 心学塾作業所 [大峰元町 1 丁目 21-5 072-859-9194]
- ★ 紅茶専門店 VIE [南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャノース [枚野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [山之上 2 丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [星丘 1-20-8 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじはうす [交北 3 丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 全労済大阪府本部 共済ショップ枚方 [大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F 072-804-5550]
- ★ 健康・福祉プラザ 助さん・たくさん [大峰元町 1-1-1 072-858-8565]
- ★ エステのお店 ジョセフィン [枚野南町 1-23-5 枚野南町デパート 2F 072-851-8727]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 地域ディ・くしんぼ [出口 5 丁目 13-15 072-834-5027]
- ★ 雑貨/カフェ ルボ・デ・ミディ [堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ マイウェイひらかた ワーク草笛 [藤阪天神町 3-1 072-808-2031]
- ★ ミュージック・ケアハウス「花音」 [川原町 3-1 クラウンビル 4 階 072-841-8822]
- ★ たかはま歯科医院 [津田駅前 2 丁目 17-1-108 072-896-1180]
- ★ 渦潮バーカリー楠葉店 [町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 枚方市野外活動センター [穂谷 4550 番地 072-858-0300]
- ★ 社会福祉法人くさみ会 清水園 [津田 873-2 072-896-1600]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [車塚 1-1-1]
- ★ 三代目たくちゃん ビーコ [枚野南町 2 丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚野南町 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚野南町 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ NPO法人 パーソナルサポートひらかた

- ★ 自閉症療育センター Link [岡東町 24-10 アイエス枚方ビル 3 階 072-841-2411]
- ★ MogaJoga Dining 枚方宿 [堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 [ばびるす [大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ ぶらっとホーム・すがりまひがし [藤阪東町 3-1-11 072-859-5005]
- ★ とくふうホーム [大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ Live Space むじやき [新町 1-3-17 2F 京阪バス協会内 072-396-6286]
- ★ みんなでつくる広場「ちよこと」 [楠葉野田 2-30-8 080-4078-2802]

その他のほか

- ★ 寝屋川市立市民活動センター
- ★ フレッシュバーカリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ 寝屋川市立ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園 1F 072-835-3335]
- ★ ヘアーサロンおもち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024 (予約優先)]
- ★ たこやき屋 中角 [交野市倉治 3 丁目 52-1 072-891-4022]
- ★ レストラン ジュリア [交野市私部 3 丁目 11-3-2 072-891-2288]
- ★ NPO法人 ゆいむ (結夢) [交野市私部 7 丁目 12-58 072-810-7880]
- ★ 作業所クローバー [交野市私部 5 丁目 9-3 072-894-4822]
- ★ えんでは村作業所 [交野市天野が原町 2 丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ [交野市天野が原町 2 丁目 14-20]
- ★ 交野市役所 市長公室 [交野市私部 1 丁目 1-1]
- ★ きさい植物園ファンクラブ事務局 [交野市私市 7-19-14 072-894-0840]
- ★ わくわく科学館 [交野市私市 6-10-2 080-3819-7292]
- ★ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター [京都市伏見区塚本町深草 67 075-645-2047]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町費田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ 福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター [福山市三吉南 2-11-22 084-928-1346]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市御明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]

移動配布所

- ★ ファバルケイナ音楽隊 一歩出張音楽隊 [funbal@mail.goo.ne.jp 090-6055-8312]

いつも応援ありがとうございます！

LIP 応援団

鶴島緋沙子さん 1口

LIP を継続して発行していくために、LIP 応援団を作りました。一口 2000 円です。応援団員には以下の特典があります。

★ LIP 裏表紙に応援団員のお名前掲載！ (希望者のみ。匿名も可です)

★ LIP の郵送サービスします！

1口で 1 年間郵送します。

(希望者のみ。複数部数も歓迎です)

■ 郵便振替 00920-8-120259 (LIP 編集部)

■ 連絡先: lip@love-dugong.net

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
31950	前号から繰り越し
4000	応援団 2 口
2	銀行利子
2000	広告 2 口
▼2300	郵送
▼4960	印刷
30692	計 (次号へ繰り越し)

アッキー28号が書きました！

自選五行歌集『緑の星』 販売開始！

★ 日々の暮らしの中で感じる思いやひとりごと、そのまま、五行のうたにぶつけてみました！ 五行歌を始めて十年の記録。ぜひ、お読みください。

〈目次〉障害の子・友よ、わたしの生きなかつた生を生きる人たち
よ・緑の星・心象風景・王子・実験動物棟・ドリームワーク
〜蝶〜・闇・VS 夫・障害児の母・共に生きる世界へ・国旗掲揚・これから……他エッセイ等

★ 桑本明枝著/頒価 600 円 (郵送の場合 690 円)

お問合せ・お申込は akkie.toyotaka@kud.biglobe.ne.jp

または 090-5893-5635 (とよたか) まで

今年もあと少し。毎年برانداで作る干し柿も完成。おいしくいただいています。さて、LIP ファンのみなさん、お待たせしました。

★ LIP 縮刷版 2009 予告 ★

2009 年 1 月号～12 月号までの LIP 全部をまとめて読めます。しかも！ フルカラーです。白黒印刷ではよくわからなかった「漬物」だとか京阪電車の色などもばっちりわかります♪ 予約承ります。12 月 19 日発行予定。A4 サイズ/1 冊 1000 円。(編集部 W)

表紙イラスト：平井由恵

次号 (新年 1 月号) は、12 月 19 日に発行予定です♪